

安 全 デ ー タ シ ー ト

1. 製品及び会社情報

製品名 EBテープ
会社名 ミツ星ベルト株式会社
住所 神戸市長田区浜添通4丁目1-21
担当部門 建設資材事業部 技術・生産部
電話番号 078-682-3379
FAX番号 078-685-5681
緊急連絡先 078-682-3379
整理番号 K-311
推奨用途及び使用上の制限 EPDM系防水シート

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類対象外
危険性 可燃性の固体
健康に対する有害性 飲み込むと有害で生命に危険を及ぼす恐れもある。
環境に対する有害性 知見なし

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分 : 混合物
化学名 : EPDM系加硫ゴムシート

成分	含有量(%)	官報公示整理番号	CAS No.
EPDMゴム等	59~68	記載できない	記載できない
カーボンブラック	17~21	対象外	1333-86-4
シリカ	2.5~4	(1)-548	7631-86-9
オイル	12~15	記載できない	記載できない
酸化亜鉛	0.6~0.8	(1)-561	1314-13-2

4. 応急処置

吸入した場合: 固形物につき該当せず。
皮膚に付着した場合: 皮膚を速やかに洗浄すること。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合: 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が継続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
医師の手当て、診断を受けること。
飲み込んだ場合: 口の中に残ったものは取り除き、清浄な水で口の中で洗浄し、ただちに医師の手当て、診断を受けること。
予測される急性症状及び遅発性症状 特になし

5. 火災時の措置

消火方法: 注水、水噴霧、各種消化器等を使用し、風上から消火して下さい。
熱分解、不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素、窒素酸化物、その他の有毒ガスが発生する可能性があり、これらの吸入による危険が生じる可能性があります。状況に応じて消火用防毒マスクや防火服等の保護具を着用するようにして下さい。

消火剤 : 注水、粉末、炭酸ガスの消火器、防火砂等

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び 緊急時措置: 環境に対する注意事項: 除去方法:	漏出時の処置を行う際には、適切な保護具を着用する。 下水及び公共水域に流出しないようにする。 漏出、飛散した場合には、掃き集め、適当な容器に回収する。 回収物は、「13. 廃棄上の注意」に従い、廃棄する。
--	---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策: 安全取扱い注意事項:	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の保護具を必要に応じて着用する。 使用前に取扱説明書を手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 飲み込まないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
保管 技術的対策: 保管条件: 混触危険物質:	屋内保管に当たっても白熱灯や水銀灯などの高温や強い紫外線を出す 照明の近くには保管しないこと。 直射日光を避け、換気の良い所に保管する。 屋内貯蔵を原則とする。 特になし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	(カーボンブラック) 厚生労働省告示369号(2004.10.1) 3.0mg/m ³ (遊離ケイ酸含有率ゼロ) (シリカ) 設定されていない (オイル) 設定されていない (酸化亜鉛) 設定されていない																					
許容濃度:	(カーボンブラック) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>日本産業衛生学会勧告値(1996)</td> <td>吸入性粉じん</td> <td>1 mg/m³</td> </tr> <tr> <td>(第2種粉じんに該当)</td> <td>総粉じん</td> <td>4 mg/m³</td> </tr> <tr> <td>A C G I H (1995~1996年)</td> <td>TLV-TWA</td> <td>3.5 mg/m³</td> </tr> <tr> <td>O S H A (1969年~現在)</td> <td>PEL-TWA</td> <td>3.5 mg/m³</td> </tr> <tr> <td>N I O S H (1978年~現在)</td> <td>REL-TWA</td> <td>3.5 mg/m³</td> </tr> </table> (シリカ) 日本産業衛生学会(2009) (第3種粉じんに該当) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td>吸入性粉じん</td> <td>2 mg/m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総粉じん</td> <td>8 mg/m³</td> </tr> </table> (オイル) 日本産業衛生学会(2006) A C G I H (2004年) 時間加重平均(TWA)値 5 mg/m ³ (鉱油ミストとして)	日本産業衛生学会勧告値(1996)	吸入性粉じん	1 mg/m ³	(第2種粉じんに該当)	総粉じん	4 mg/m ³	A C G I H (1995~1996年)	TLV-TWA	3.5 mg/m ³	O S H A (1969年~現在)	PEL-TWA	3.5 mg/m ³	N I O S H (1978年~現在)	REL-TWA	3.5 mg/m ³		吸入性粉じん	2 mg/m ³		総粉じん	8 mg/m ³
日本産業衛生学会勧告値(1996)	吸入性粉じん	1 mg/m ³																				
(第2種粉じんに該当)	総粉じん	4 mg/m ³																				
A C G I H (1995~1996年)	TLV-TWA	3.5 mg/m ³																				
O S H A (1969年~現在)	PEL-TWA	3.5 mg/m ³																				
N I O S H (1978年~現在)	REL-TWA	3.5 mg/m ³																				
	吸入性粉じん	2 mg/m ³																				
	総粉じん	8 mg/m ³																				

(酸化亜鉛)

ACGIH (2010年) TLV-TWA 2 mg/m³

設備対策: 室内で取扱う場合は管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。

保護具

手の保護具: 必要に応じて適切な保護手袋を着用すること。

衛生対策: 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観等: 黒色、シート状
比重: 1.24
臭気: 微臭あり
溶解度: 水に不溶
沸点/蒸気圧/融点/初留点/揮発性: 該当せず

10. 安定性及び反応性

分解温度: 知見なし
爆発性: 該当せず
酸化性: 該当せず
自己反応性: 該当せず
粉塵爆発性: 該当せず
安定性・反応性: 安定
発火点: 知見なし
引火性: 引火性なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口): 知見なし
急性毒性(経皮): 知見なし
急性毒性(吸入:ガス): 知見なし
急性毒性(吸入:蒸気): 知見なし
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト): 知見なし
皮膚腐食性・刺激性: 知見なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性: 知見なし
呼吸器感受性: 知見なし
皮膚感受性: 知見なし
生殖細胞変異原性: 知見なし
発がん性: 知見なし
生殖毒性: 知見なし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露): 知見なし
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露): 知見なし
吸収性呼吸器有害性: 知見なし

12. 環境影響情報

魚毒性: 知見なし
蓄積性: 知見なし
分解性: 知見なし
その他: 知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装:	包装材は地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規則	
国連番号:	非該当
国連分類:	非該当
容器等級:	非該当
海洋汚染物質:	非該当
特別の安全対策	輸送時に落下や、転倒もしくは破損しないように積載すること。 輸送に際しては、直射日光を避け、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法:	名称を通知すべき有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) カーボンブラック:政令番号 第130号 シリカ:政令番号 第312号 オイル:政令番号 第168号 酸化亜鉛:政令番号 第188号
----------	--

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先:	三ツ星ベルト株式会社 建設資材事業部 技術・生産部 電話 078-682-3379
参考文献:	1)GHS 対応による混合物(化学物質)のMSDS 作成手法の研修テキスト 2)製品安全データシートの作成指針 3)材料メーカーの製品安全データシート 4)American Conference of Government Industrial Hygienists 米国政府産業衛生専門官会議 5)U.S. Occupational Safety and Health Administration 米国労働省・労働安全衛生局 6)U.S. National Institute for Occupational Safety and Health 米国国立職業労働安全衛生研究所 7)化学物質安全情報提供システム 8)RTECS(2002NIOSH) 9)許容濃度等の勧告、日本産業衛生学会(2006)

記載内容の取り扱い

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社はSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。